寝屋川民報
議会版
発行
日本共産党
寝屋川市会議員団
072-824-1181
（内線2399）
FAX：824-7760
No.2724

石本えりな
太秦元町9－2－203
090-8937-1934

太田とおる
高柳2－49－2
080-3818-9722

中林かずえ
宝町4－33
090-3944-8385

西田まさみ
石津中町30－3
090-9713-3588

前川なお
萱島東2－16－11
090-1025-7503

大阪府として
３５人学級実現を

全国最低水準の大阪府

「ていねいに勉強を教えてほしい、話をきいて欲しい」、「一人ひとりに目を向けてほしい」という、子どもたちの願いは切実です。

少人数学級が、学力の向上や生活習慣の改善などで効果があることは、文科省・府教委の調査でも明らかです。

全国の都道府県では、国基準を超えて、小学3年生以上に拡充していますが、小学校2年生で止まっているのは、大阪、広島、熊本の3県だけです。

貧困と格差の広がる下で、手厚い対応が必要な子どもが増え、とりわけ大阪では、教育困難が深刻化しており、その現実は切実です。

少人数学級 拡充「なし」は３府県だけ

小１～小２のみ	大阪、広島、熊本
小１～中３	福島、山形、山梨、長野、静岡、和歌山、鳥取、岡山、山口、香川、愛媛、　新潟、福井
小１～中３（少人数指導との選択制で可）	千葉、神奈川、滋賀、京都、奈良、福岡
小１～小４・中１～中３	秋田
小１～中１	徳島
小１～小４、中１	岩手、群馬、高知

教職員の大幅増を

教職員を増やすことは緊急の課題です。とくに大阪は劣悪です。あと3千人増やして、やっと児童生徒1人あたりの教員数が全国平均に追いつく状況です。

府独自配置の教職員を増やし、国には大幅な教職員定数増を求める必要があります。

正規教職員の配置を

２０１４年の教員採用では、大阪全体で新規採用が７４０６人必要であったのに対し、実際には３００５人の採用しかせず、４４０１人が定数内講師になっています。

教育に臨時はなく、正規教職員を定数どおり配置し、臨時教職員の待遇改善が必要です。

維新府政８年間で 減らされ続ける教育予算

教員１人当たりの児童生徒数（２０１３年）	小学校４０位 中学校４１位
一人当たりの学校費（２０１２年）	小学校４３位 中学校４５位
人口１人当たりの教育費（２０１２年）	全国４５位

せめて全国並の条件へ

維新府政の8年間で、教育関係予算は587億円も切り下げられ、大阪の教育条件はボロボロの状況に陥っています。

一人あたりの教育費や学校費、そして教員一人当たりの児童生徒数など、全国最低水準です。

せめて全国並みに引き上げるだけでも、各学校が抱える困難は大きく改善されます。

視界

10月24日に東小校区の自主防災訓練がありました。天気もよく、たくさんの方が参加されていました▼小学校のグランドと体育館を使い、グランドでは、防災備蓄品の説明や心臓マッサージ、ＡＥＤや消火器の使い方などの実践をしていました▼地震体験訓練では、震度7などが体験でき、強い揺れの場合には、なかなか机の下に入れないため、「いざ地震が来たら怖い」と体験された方が話されていました。少し前までは、「地震が来たときにガスは、すぐに消して下さい」でしたが、今は、「まず避難し、地震の揺れが収まってから火を止める」指導に変わっています▼体育館では、「地震による電気火災対策を」と、感震ブレーカーについての説明が行われていました。地震時に多い火災は、大地震がおこり停電。その後復旧し、その際スイッチが入ったままの電気ストーブに洋服などが接触して発火する現象が「通電火災」です▼今、国や自治体は「通電火災」を問題と捉え、対策に取り組んでいる状況です。寝屋川市も独自の対策が求められています。

介護保険制度 施策の後退ではなく充実へ

今年４月に改正された介護保険法の下で、特別養護老人ホームや老人保健施設などの入所者に対し、これまで低所得者への食費や居住費負担の軽減措置である「補足給付」の対象外となった件数は、大阪府全体の約２割に上ります。

これまで１割だった利用者負担が２割負担を強いられるようになった件数は、全体の約１割を占めます。

また、４月の介護報酬改定が小規模事業の経営を圧迫し、撤退や廃業が相次いでいます。

特別養護老人ホームの大阪府全体の待機者は２００７年では６０９０人が、２０１４年では８５５１人と増え続けています。

入所施設が不足する中、大阪府は、特別養護老人ホーム建設補助金を他府県の低い水準に合わせ、１床あたり３７１万円を２７０万円へと１００万円以上も削減してきました。

同時に、２００３年度に１１８３件、２００８年度でも３８２件あった高齢者住宅改造補助金を２００９年度から廃止し、見守り訪問も２０１１年度から廃止しました。

介護が必要な高齢者が介護を受けることができない「介護難民」を出さないためには、誰もが安心してサービスが使えるように、大阪府が施策の後退ではなく制度を充実させる必要があります。

特養ホームの待機者改善を

決算審査特別委員会で太田議員は、寝屋川市で、特別養護老人ホームの待機者が、実数で５６０人に上り、そのうち１年以上の待機者が３５１人いる状況に対し、改善の努力を訴えました。

【決算資料より】

▼特別養護老人ホームの待機者（２０１５年９月１日現在）＝市内18施設で待機者合計は９２８人。重複申請を除くと、市内合計５６０人。そのうち１年以上の待機者は、５８９人。１年以上の待機者で、要介護別でみると、要介護３で91人、要介護４で83人、要介護５で１０２人となっている。

※待機者数は左上の「決算資料より」を参照。

要介護の認定結果早く

太田議員は、要介護認定の結果が平均38日と、基準の30日を超えている現状について、責任の所在を問いました。

市は、26年度は審査の遅れが１６８５件あったが、今年度は解消したと回答。ほかには、主治医の意見書が遅れるなどの事情を説明しました。

太田議員は、さまざまな要因はあると思うが、せめて１次判定の結果については介護事業所に出来るだけ早く伝えるべきと指摘しました。

法律相談

日時　11月19日（木）
時間　18時30分～
場所　にぎわい創造館
　　第1セミナー室

お問い合せは
日本共産党議員団まで

電話　824－1181

第５次総合計画審議会の日程

日時　11月9日（月）
　　午後3時～

後期基本計画の
中間答申（案）の審議

どなたでも
　　傍聴できます。

議員日誌

石本えりな

４歳と２歳の娘の運動会がありました。雨が降るかもしれないという予報でしたが、天気は何とかもち、曇りでした。

２歳の娘の懇談会で、運動会の日は、「なるべく後ろの方で見てください」と先生から。お母さんを見ると、お母さんのところに行ったり、泣いたりするからということでした。

運動会当日は、少し後ろから見ていましたが、みんな泣くことなく、最初のダンスからノリノリで、一生懸命踊っていました。

長女は、竹ぽっくりをし、障害物を上手にまたいでいました。次女は、鉄棒にぶら下がり、足を上げたいけど上がらずを繰り返していました。その姿も今しか見れない姿なんだなと、毎年成長を感じる瞬間です。これからも楽しみです。